

(様式例1)

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

I 自己評価

岐阜県立高山工業高等学校

学校番号

59

1 学校教育目標	(1) 知・徳・体の調和のとれた個性豊かで明朗快活な人間性を育成する。 (2) 基礎的・基本的な学力を身に付けさせるとともに、コミュニケーション能力や問題解決能力を育成する。 (3) 勤労を尊び、たくましく生きる力を身に付け、工業を学ぶことに誇りと自信を持たせる。 (4) 学習指導および部活動指導等を充実し、文武両道に活躍できる生徒を育成する。
2 現状の分析	○明るく素直な生徒が多く、挨拶、礼儀、身だしなみ等は概ね良好で、安定した学校生活を送っている。 ○積極的に資格取得やものづくりに取り組み、習得した知識や技能を生かして進路目標を達成するとともに地域社会にも貢献している。 ▲義務教育段階の基礎的な学力や学習習慣が身に付いていない生徒や、キャリアプランニングが不十分な生徒への対応が見られる。 ▲指示されたことはできるが、状況に応じて自ら対応する力に欠ける。また、発達障がいのある生徒や疑いのある生徒が増加している。
3 学校の抱える課題	・専門的な知識や技術で地域に貢献する人材を育成するため、前提となる義務教育段階の基礎学力の確実な定着を図る必要がある。 ・個に応じた指導をさらに進め、生徒が自ら考え、行動する場や機会を積極的に仕組んで、自己実現力の育成を図る必要がある。 ・飛騨地区唯一の工業高校として、地域と連携し、ものづくりをとおして地域と一体となった人材育成を図る必要がある。 ・本校の特色ある取組や成果について、保護者、地域、小・中学生及びその保護者に対してさらに周知を図る必要がある。
4 今年度の具体的な重点目標	・授業改善に努めるとともに生徒一人一人の学習意欲を喚起し、基礎的・基本的な学力の定着を図る。また主体的な学習態度の育成に努める。 ・倫理観や規範意識の醸成と主体的に判断し、行動できる能力を育成する。 ・発達段階に応じたキャリア教育を推進し、主体的な進路選択ができるよう指導の充実を図る。 ・地域社会に貢献できる人材の育成に努め、地域や各種関係団体等と緊密に連携し、一層開かれた学校づくりを推進する。

年 度 目 標			年 度 末 評 価			
5 評価項目 領域・分野	6 重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	7 達成度の判断・判定基準 あるいは評価指標	8 取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	9 評価 A・B・C・D	10 成果と課題	11 総合 評価
学習指導	① 積極的な授業改善への取組による基礎的・基本的な学力の定着 (ICT技術の活用)	① 授業アンケート調査、生徒実態調査、定期考査得点状況、課題・自学ノート等の取組状況など	① ICT技術の活用や高工ユニバーサルデザインによる授業改善、補習・補充活動の改善、キャリア・パスポートによる学習の振り返りなど	B	○公開授業の実施等による授業改善への取組 ○Web会議を活用した学びを止めない学習指導 ○基礎学力の伸長 ▲家庭学習習慣の確立 ▲感染防止と外部連携	A B
	② コミュニケーション能力と問題解決能力の育成 (地域連携事業の活用など)	③ 地域連携事業への評価と分析、商品開発状況、販売実績、販売時の接客状況など	② 言語活動を取り入れた授業の実践、地域連携事業による商品開発、知財教育の推進など			
生徒指導	① 規範意識の向上 (生徒会主導の挨拶運動、共通理解に基づく身だしなみ指導など)	① 身だしなみ指導の状況、迷惑調査の結果、生徒の出欠状況など	① 生徒会と連携した挨拶運動の推進、MSリーダーズ活動への支援、ネット・スマホに関する指導など	B	○問題行動等の発生件数の減少 ○交通事故件数、遅刻者の減少 ○個別の支援計画の充実 ▲SNSの使用方法も含めた自己指導能力の育成	C D
	② 個に応じたきめ細かな指導 (生徒理解に関する職員研修、ケース会議、SCへの相談など)	② 担任等との面談状況、ケース会議の実施状況、外部専門家の要請の回数など	② ケース会議の実施、外部の専門家の活用、個別の教育支援計画作成、職員間の情報共有、SCによる1年生への出前講座など			

進路指導	① 専門的技術の向上 (高度な資格取得の推進、各種コンテスト等への挑戦など)	① 資格の取得状況、ものづくりコンテスト等の成績など	① 進路講演会等実施、高度な資格取得の推進、ものづくりコンテストに向けた外部講師活用など	B	○キャリア・パスポートの実施 ○Web会議を活用した生徒・保護者への情報提供や意識啓発事業の実施 ▲コミュニケーション力育成(就職試験に必要なプレゼン能力) ▲インターンシップ ▲地元就職率の低水準
	② キャリアプランニング能力向上 (キャリア・パスポートの活用、企業見学、進路先研究の徹底など)	② 企業見学の実施状況、卒業生と語る会の実施状況、卒業生の追跡調査など	③ 進路ガイダンス、企業見学、インターンシップ、PTフォーラム、公務員セミナー等のWeb実施など		
学校経営	① 社会貢献活動の推進 (工業技術を生かした地域への貢献、ボランティア活動など)	① 活動実績、報道機関からの取材、新聞等への掲載回数など	① 高山市と連携したものづくり体験教室、ものづくりを通じた国際交流等(中止)	B	▲地元との連携 ▲各種社会貢献活動の推進 ○Web会議システムによる交流 ○リーフレットやポスター配付、HP更新を積極的に実施した ▲中学生進路希望調査での志願者の減少
	② 広報活動の充実 (HPでの学校紹介動画の配信、積極的な情報提供など)	② オープンキャンパス、一日入学への参加者数、進路希望調査での希望者数など	② 市議会への卒業作品展の情報提供や特別支援学校等とのWeb交流活動など ③ 学校紹介DVD配付、本校の活動状況紹介チラシ等の中学生へ配付、一日入学、オープンキャンパスの実施など		

II 学校関係者評価 実施年月日：令和3年2月12日

・基礎学力の定着とともに、社会人として必要な礼儀や素養を育成する等キャリア教育を小学校、中学校との連携も意識して推進し、生徒が主体的に社会人となる準備を進められる教育を引き続き実践してもらいたい。

・新型コロナウイルスの感染防止対策を進めつつ、オンライン授業等学びを止めない様々な取り組みを続けてほしい。また、オンライン学習で補うことはできない体育や専門科目の実習等は方策を考える必要がある。

・学校内、学校内共に生活指導等をきめ細かく行い、生徒が安全に登校できるよう努めてほしい。

・学校の施設や設備の改修や整備を進め、安全・安心に学習できる環境を引き続き整備してほしい。

・志願者増加に繋げるため、女子生徒の活躍場面の設定や県外への魅力発信に力を入れてみてはどうか。

・プログラミングの出前授業は近隣の小学校だけでなく、他の小学校にも活動を広げてほしい。

12 来年度に向けての改善方策案

・今年度導入された1人1台タブレットや学習支援ソフトを効果的に活用する授業についてさらに研究を重ね、主体的・対話的で深い学びに向けた授業実践を行う。

・Web会議を活用し変災時等においても学びを止めない体制を整えるとともに、様々なICT機器やメディアを活用して学校の活動を発信する。

・義務教育段階の基礎学力や学習習慣の定着、あるいは発達障がいのある生徒等個に応じたきめ細かな指導及び支援を充実させる体制をつくる。

・キャリア・パスポートの活用を通じて、学習習慣の改善や各々のコミュニケーション能力の育成を行い、希望の進路実現につなげる。

・学校行事、生徒会活動、部活動の内容を吟味した上で、自己肯定感や自己管理能力を高めるために生徒が自ら考え、行動する場や機会を設定する。

・「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」の活動成果を踏まえ、「ものづくり」を通じた地域貢献につながる事業推進を図りながら、地元企業とも連携し、地元就職率を上げる。

・中学生及びその保護者だけでなく、中学校の先生方に「ものづくり」の魅力を伝えるために出前授業などを継続するとともに、様々な情報発信を用いて魅力を発信し入学生の増加につなげる。